

地域おこし協力隊

このページでは、地域おこし協力隊の活動をお伝えしていきます。
 ※道志村地域おこし協力隊とは、村が都市住民を受け入れ、隊員は農林漁業の応援、住民の生活支援など、地域おこしを目指して活動していくものです。

最 近、畑に通う日々です。



私たちが畑にいると、通りがけの方が声をかけてくれます。そのなかで、農作業に関する多くの知恵や技術を教えていただいています。とても勉強になります！

いよいよ作付けも一段落したので、これからは野菜がすくすくと成長するよう、見守っていききたいと思います。

(中島拓哉)

林内作業車が到着！



道志の湯へ導入されている薪ボイラーに、村内の間伐材を利用した薪を供給している「NPO道志・森づくりネットワーク」は、「どうし木の駅」と呼ばれる木材の集積所にて村民の皆様から木材の買取を行っています。

私たちが木材を山から道路へ運び出す作業（搬出）をお手伝いする時、人

力のみでは大変であるため、ポータブルウインチという機械を使って焦らずじっくりと材を出します。

このウインチは基本的な操作を覚えれば、誰でもすぐに取り扱える機械で重宝しています。ただし、木材を積んで細かい作業道を移動する際にはウインチでは対応出来ません。

6月13日、搬出の際にとっても頼りになる機械が木の駅へ到着しました！「林内作業車」という機械で、木材をウインチで引つ張り出したり、木材を積んで移動することが出来ます。私が以前から親しくさせて頂いている千葉県山武市の「NPO元気森守隊」からご好意でお借りしています。

さあ、これから頑張って木材を山から出すお手伝いを進めて参ります。皆様、山について困っていることがあれば、お気軽にお声がけ下さい！

(大野航輔)



小管村での搬出作業(2013.4.12)



木の駅に到着した林内作業車(2013.6.13)



林内作業車に木材を積んだようす

た だいま協力隊による季刊誌を作成しています。

隊員それぞれが、活動報告とともに、村で暮らしていて気になること、関心のあることを取材・執筆し、冊子にして年4回発行していきます。

創刊号のおもな内容は協力隊の自己紹介です。7月中に発行し、隊員がお届けにまいります。

どうぞご覧いただき、ご意見・ご感想をいただけたら幸いです。

(香西恵)